



INTERVIEW

## 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

先輩職員インタビュー

「より良い生活空間を生み出す建築設備を」

所属 会津若松建設事務所 建築住宅部 建築住宅課

● これまでの経歴(所属年度)

H22~H24 県北建設事務所 建築住宅部 建築住宅課  
H25~H26 県中流域下水道建設事務所 建設課  
H27~H28 土木部 営繕課  
H29~R 1 土木部 建築住宅課  
R 2~ 会津若松建設事務所 建築住宅部 建築住宅課



機 械

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 私の所属する会津若松建設事務所建築住宅課では、会津地方の県有建築物（合同庁舎や県営住宅、県立高校等）を安心して利用できるよう、施設整備に日々努めています。

主な業務内容として、各県有施設の役割を実現するために、新築や改修等の工事の計画・設計や工事の監督業務を行います。公共施設は子供からお年寄りまで多様な人が使用することから、使う人への配慮がなされた安全・安心な建物を作り上げていくことに、大きな責任とやりがいを感じます。



↑ 施設担当者との打ち合わせの様子

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 県有施設は何十年も前に建設されたものがとても多く、電気・給排水設備が適切な時期に更新されていない建物も少なくありません。こうした建築設備を改善することは、県有施設の利用者の利便性や快適性の向上に直結します。実際に、県営住宅のリフォーム工事や、庁舎内照明のLED照明への改修、空調設備の更新等を行うと、利用者の方からとても喜ばれます。限られた予算の中で、少しでも快適な建物となるよう、日々業務に取り組んでいます。



Q. 仕事に必要な知識・技術を身に付けるために心がけていること。

A. なぜそうなるのか疑問をもって、詳しい人に聞いてみる、または、自分で調べることで、知識等が少しずつ身についていくものだと思っています。その他に、幅広い知識を体系的に取得する手段として、関係資格の勉強をすることも一つの方法だと思います。



↑設計事務所との打ち合わせの様子

Q. あなたの県職員生活をキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「千里の道も一歩から」

Q. 「千里の道も一歩から」について教えてください。

A. 私の好きな言葉で、いつも心がけていることの一つです。

県職員は数年ごとに異動があり、今まで経験のない業務を担当する場合や業務量が多い部署に配属される場合があります。人間誰しも終わりが見えないと不安や焦りが生まれますが、「1つ1つ着実に積み上げていけば、いずれ終わりが見えてくる」という気持ちを大事にして、あまり悩み過ぎないようにしています。



↑施工に不具合がないか、現場の確認を行います。